

実践研究主題

学習意欲の向上、基本的な知識・技能の習得を通して、  
「生きる力」をもった生徒を育てるにはどのようにあればよいか。

(2/2年次)

(1) 研究主題設定の理由

昨年度は、「学習意欲の向上と学習習慣の確立」を重点に、「落ち着いた授業」・「わかる授業」を行うことで、生徒に基礎学力をつけさせ、落ち着いた学校生活を送らせようと考え、授業の始まる1分前着席の呼びかけや中学生として身につけておくべき礼儀作法の指導を全職員の共通理解のもと行った。その結果、比較的落ち着いた学校生活を送る生徒が増えたが、授業中は私語をせず、黙って聞いていればいいという考えの受け身の姿勢が見られた生徒がいるのも事実であった。今年度も昨年度の反省や課題を踏まえながら、子どもたちに基礎的・基本的な知識や技能を習得させることで、学習意欲が向上し、将来社会において、自主的に「生きる力」を生かすことができるのではないかと考え本研究を深めていきたいと考えた。

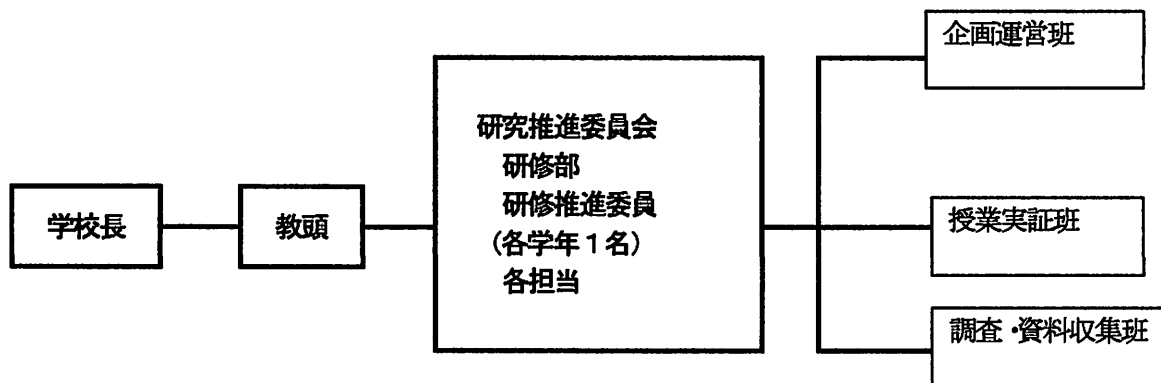
そこで、本校職員を企画運営班・授業実証班・調査資料収集班に分け、年間計画をもとに、全体研修と個人別のテーマ研修を進めていく。また、「中学校学力向上総合プラン」と関連づけながら、テーマ研修の中で、基礎的・基本的な知識・技能の習得のあり方について授業や諸活動等を通じて研修を深めたい。特に、本年度は教師側の授業方法の改善も中心に研修をすすめたいと考えテーマを設定した。

(2) 研究の構想・手立て

本年度の福平中学校における取り組み

学力向上を目指した各教科における授業づくりの工夫

ア 研究の組織



イ 研究班の活動内容

班の名前	活動内容
企画運営班	授業実証班・調査資料収集班のサポート、相談役。小中連携研修会の運営、毎月の職員研修の準備や各担当者へのサポート、必要に応じて外部との連携や調整など
授業実証班	研究授業の指導案検討など、授業づくりの手伝いをする。本年度の研究テーマを、研究授業を通して実証する
調査・資料収集班	テーマに対する意識調査やアンケートの収集・分析を行う。様々な教育情報を提供する。

ウ 本年度職員分担表

	1年	2年	3年
企画運営班	繁山, (原口萌)	櫻井, 長友	日高
授業実証班	宮田, 井上, 是枝, (繁山), (原口萌)	新田, 川畑, 下堂蘭	久米村, 永田, 前原, 原口
調査・資料収集班	今藤, 石原, 塗木	宮, 亀山, 向蘭	折田, 鶴狩, 増田

エ 具体的な進め方

- \* 年間計画をもとに, 各々のテーマ研修を進めていく。
- \* 学力向上対策事業プランと連携しながら, テーマ研修の中で, 生徒の基礎的基本的な知識・技能習得のあり方について授業を提供してもらったり, 講話を聞いたりする。
- \* 今年度は特に, ICT機器活用の方法を研修し, 授業の改善に役立ててもらおう。

オ 研究の視点

以下の4点を, 研究の視点として進めることにする。

- \* 各教科における, 基礎的基本的な知識・技能の習得のための工夫
- \* 思考力・判断力・表現力を高める授業のあり方の工夫
- \* 探求的な授業の研究
- \* 学習意欲の向上と学習習慣の確立

カ 年間計画

		主 な 内 容	担当者
1	4月28日	本年度の職員研修について, 年間計画の説明 事例研修(生徒理解について)	研修係 生徒指導係
2	5月23日	テーマ研修① 本年度の方針, 実践事項の決定 小中連携研修会の準備	研修係
3	6月10日	テーマ研修② 小中連携研修会 学力向上プラン研究授業公開	研修係
4	7月11日	生徒の学力向上のために 標準学力検査の結果の分析	学習指導法改善係
5	8月1日	特別支援教育 特別支援教育の進め方について	特別支援教育係
6	8月19日	ICTの効果的な活用法について	情報教育係
7	10月3日	生徒理解について カウンセリングの技法や生徒理解のために 必要なスキルを身につける。	教育相談係
8	11月28日	テーマ研修③ 実践事項の進捗状況の確認	研修係
9	12月12日	情報モラルの指導について 情報モラルの指導の進め方	情報教育係
10	1月23日	人権同和教育 人権同和教育の進め方	人権同和教育係
11	2月13日	テーマ研修④ 本年度のまとめと来年度の計画	研修係

キ 各教科実践例

① 各教科における、学力向上を図るための工夫

教科	学力向上を図る工夫	見込まれる成果
国語	① 発表の際に「分かりません」を言わないで表現する習慣を身につけさせる。 ② 心情読み取りの根拠となる表現に線を引く。	① 全員が答えを聞く・写すだけで終わらず、自分で、又は周りと協力して答えを考えようとする姿勢が育つ。 ② 何となくこう思うのではなく、この表現があるから登場人物はこういう心情だと正確に読み取ることができる。
社会	① 導入時の漢字テスト(歴史)・地名探し(地理) ② 展開時の「基本用語集」の活用 ③ ICT機器の活用 ④ 導入時の小テスト	① 基礎学力の定着 ② 自ら学ぶ習慣の形成 ③ 興味・関心の高まり ④ 基礎学力の定着
数学	① 数学の宅習ノートを毎日提出する。(1年) ② 授業の初めの5分間で毎時間計算問題にとりくむ(2年) ③ 厚物を計画的に進めていく。提出させて点検をする。(3年)	① 毎日数学を勉強する習慣をつけさせることで苦手意識を少しでもなくす。(提出しなかった生徒は残ってプリント提出する。) ② 計算力アップを図る。 ③ 計画的にとりくむことで、復習をスムーズに進め、入試問題にも早めに慣れさせる。
理科	① 実験方法をワークシートと板書に時系列で示す。 ② 実験結果をワークシートの表、グラフ、図、絵などで書かせる。 ③ 結果から分かることを文章でまとめる。	① 正しい実験方法・手順が分かり、安全に実験し正しい結果がえられる。 ② 実験結果を正しく処理し結果から考察することができる。 ③ 科学的に考える力を伸ばすことができる。
英語	① 読むこと(音読)の指導を充実させる。(ICT機器の活用) ② 書くことの指導を充実させる。(ICT機器の活用)	① 正しく発音できるようになることで聞いたり読んだりする理解力が高まる。 ② 正しく書くことができるようになることで、自己表現力が高まる。
音楽	① 基本的事項を反復させる。(リコーダーの運指・新曲のときに確認すること等) ② 楽譜からの情報に目を向けさせる。 ③ グループ活動をさせる。(パートでの歌の練習・リコーダーアンサンブルなど)	① 学習の流れができ、授業の中で「これはできるようになった」という実感が得られる。 ② 楽譜を読むことの抵抗感が少なくなる。 ③ 1人でやるより楽しむことができる。
美術	① 作品の良い点を見つけ、褒める。 ② 作品が出来上がったら、発表会をすることを意識させる。	①② 制作活動への意欲の喚起
保体	① 保健の授業でのワークシート活用 ② 保健体育に関することの掲示・プリント配布 ③ 体力向上では、毎日の補強運動(サーキット)の実施	① 保健に関することをできることからやるようになる。 ② 生活の中で意識が高まる。 ③ 自分の体力を知り、健康な体の維持増進につながる。
技家	① 聞く姿勢の徹底 ・手はひざの上のにせる。 ・体を向ける。 ・目で話を聞く ② 活動時の姿勢 ・ 協力し助け合う。 ・ 安全面に十分気をつける。	① 授業時に静と動のメリハリが生まれ、集中力を身につけることができる。 ② 協調性の育成(製作活動)

② 平成23年度「市小・中連携研修会」英語科の授業(以下、授業の感想)

- レベルの高い内容を示していただいたと思います。
- 校内で実施され、しかも1クラスなので、1時間ゆっくりと参観することができた。
- 生徒の活動やデータ機器の使用など大変参考になった。
- クラスの中、生徒の中まで入って行って様子を見られて良かった。  
△△先生の授業は、活動も多くおもしろかった。
- △△先生の授業を見ることができて、とても勉強になった。